

令和6年度

秋田自動車道

横手地区家屋事前調査

特記仕様書

令和6年5月

東日本高速道路株式会社  
東北支社 横手工事事務所

# 目次

第1章	総則	1
1-1	調査等概要	1
1-2	適用する共通仕様書	1
1-3	管理技術者の経験及び資格	1
1-4	現場作業責任者の資格	1
1-5	照査技術者及び照査の実施	1
1-6	配置技術者	2
1-7	受注者相互の協力	2
1-8	作業計画書	2
1-9	調査等打合簿の作成及び提出について	3
1-10	履行報告	3
1-11	保安に関する事項	4
1-12	環境保全に関する事項	4
1-13	合同現地踏査	4
1-14	ウィークリースタンスの取組み	5
第2章	業務細部に関する事項	6
2-1	家屋事前調査	6
2-2	家屋事前調査の区分	6
2-3	材料費等	6
2-4	打合せ	7
2-5	交通費・日当・宿泊費	7
2-6	成果品	7
第3章	補足事項	7
3-1	現地立ち入りについて	7
3-2	設計図書の変更及び追加が予想される内容	7

別添

## 第1章 総則

### 1-1 調査等概要

- 1-1-1 調査等名 秋田自動車道 横手地区家屋事前調査
- 1-1-2 道路名 秋田自動車道
- 1-1-3 履行箇所 自) 秋田県横手市山内筏 (STA. 126+00.00)  
至) 秋田県横手市柳田 (STA. 14+30.00)

### 1-1-4 主な履行内容

名 称	数 量	摘 要
現地踏査	1 式	
家屋事前調査	7 棟	工作物 5 箇所
打合せ協議	1 業務	

### 1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）は、令和5年7月版とし、別添の用地関係調査仕様書（令和6年3月版）の第2編 地盤変動影響調査等業務標準仕様書及び第4編 用地関係調査の発注に係る秘密保持に関する標準特記仕様書、地盤変動影響調査算定要領（別冊）を適用するものとする。各仕様書の適用区分は次のとおりとする。

名 称	数 量
調査等共通仕様書	1-17-6「身分証明書交付願」以外の項目
用地関係調査仕様書	上記調査等共通仕様書の適用区分に定められている事項を除く

### 1-3 管理技術者の経験及び資格

#### 1-3-1 管理技術者の経験

管理技術者の経験については、当該業務の入札公告（説明書）に示すとおりとする。

#### 1-3-2 管理技術者の資格要件

共通仕様書1-7-1「管理技術者の資格要件」については、共通仕様書によらず、当該業務の入札公告（説明書）に示すとおりとする。

### 1-4 現場作業責任者の資格

共通仕様書1-8-2「現場作業責任者の資格要件」については、共通仕様書によらず、当該業務の入札公告（説明書）に示すとおりとする。

### 1-5 照査技術者及び照査の実施

#### 1-5-1 照査技術者の資格

共通仕様書1-9-2「照査技術者の資格要件」については、共通仕様書によらず、当該業務の入札公告（説明書）に示すとおりとする。

## 1-6 配置技術者

共通仕様書1-11の規定によらず、次のとおりとする。

当該業務にかかる入札前の競争参加資格申請書、参加表明書または技術提案書（以下「参加表明書等」という。）を発注者に提出した調査等にあたっては、管理技術者、現場作業責任者または照査技術者は、参加表明書等の「配置予定管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者の経験及び能力の資格・実績等、成績等の記載欄」に記載した者を原則として契約期間中配置しなければならない。なお、死亡、傷病、退職、出産、育児等やむを得ない理由により、配置することが困難となった場合は、その理由及び別に配置する技術者の氏名、資格及び業務経験等を記載した書面を付して監督員の承諾を得なければならない。なお、監督員の承諾を得て新たに配置する技術者は、原則として下記の要件を満足する者でなければならない。

- （１）当該業務の入札公告（説明書）に示す「管理技術者、現場作業責任者、または照査技術者に求めた資格及び業務経験」と同等以上の資格及び業務経験を有する者。

## 1-7 受注者相互の協力

共通仕様書1-20「受注者相互の協力」に示す「隣接または関連の調査等及び工事の受注者」は下表のとおりとする。なお、下表は現時点のものであり、変更が生じた場合は監督員より通知する。

調査等名または工事名	履行期間	受注者	発注機関	備考
令和5年度 秋田自動車道 山内～横手間水文調査	令和5年4月4日～ 令和7年6月21日	応用地質(株)	東日本高速道路(株)	隣接施行 (施工)
秋田自動車道 山内地区家屋事前調査	令和6年2月20日～ 令和6年10月16日	(株)八州	〃	〃
秋田自動車道 大沢地区土質地質調査	令和6年3月1日～ 令和6年9月26日	大日本ダイ ヤコンサル タント(株)	〃	〃
秋田自動車道 土溜工事	令和6年4月26日～ 令和11年3月30日	(株)安藤・間	〃	〃

## 1-8 作業計画書

### 1-8-1 作業計画書の提出

共通仕様書1-14-1「作業計画書の提出」によらず、受注者は調査等着手前に、次の各号に掲げる当該調査等の全体計画に関する事項を記載した作業計画書を監督員に提出しなければならない。ただし、調査等着手前に提出することが困難なものについては、後日別途提出することができるものとする。

また、設計図書その他の規定により作業計画書に記載すべき事項と同様な内容の書類がある場合、または監督員が必要でないと認めた場合は、この限りではない。

なお、監督員は、提出された作業計画書に著しい不備等がある場合には、受注者に対して修正を求めることができるものとする。

- |           |                      |
|-----------|----------------------|
| (1) 調査等概要 | (6) 連絡体制（緊急時を含む）     |
| (2) 計画工程表 | (7) 仕様書に定められた事項      |
| (3) 業務組織表 | (8) 成果品の品質を確保するための計画 |

(4) 主要機械器具及び設備 (9) その他必要事項

(5) 基本的な調査方法

#### 1-8-2 計画工程表の記載事項

本特記仕様書 1-8-1「作業計画書の提出」(2)に示す作業計画書中の計画工程表の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者との協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は共通仕様書 1-2-2「打合せ」に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

項 目	単 位	備 考
現地踏査	式	
家屋事前調査 木造建物	棟	
家屋事前調査 工作物	箇所	
打合せ協議	業務	

#### 1-8-3 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は共通仕様書 1-2-2「打合せ」に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告をするとともに、共通仕様書様式第 1-4 号「調査等打合簿」に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1-1-4-3「変更作業計画書」に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いは受注者と監督員との協議の上決定するものとする。

#### 1-9 調査等打合簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書 1-2-2「打合せ」に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後 7 日以内（休日等を除く）に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内（休日等除く）に受注者へ返送するものとする。

#### 1-10 履行報告

共通仕様書 1-2-4「履行報告」によらず下記のとおりとする。

- (1) 受注者は、本特記仕様書 1-8-1「作業計画書の提出」に示す計画工程表を作成するにあたって、作業計画に影響する懸案事項がある場合は、その内容を明記するとともに、課題解決のための受発注者責任分担、対応者（監督員又は受注者）及び対応時期を明記するものとする。
- (2) 前項の規定に従い作成した計画工程表を、受発注者双方で確認し認識を共有するものとする。
- (3) 受注者若しくは発注者は、計画工程表に明記した事項に変更が生じた場合、速やかに記載事項を修正するとともに、修正した計画工程表を受発注者双方で認識し共有するものとする。

## 1-1-1 保安に関する事項

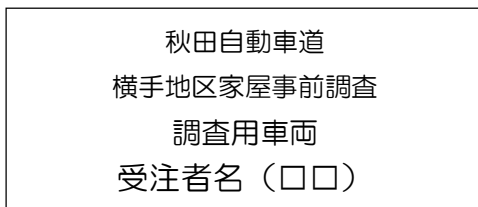
### 1-1-1-1 調査用車両の運行速度

一般道の人家連担区域等や高速道路上における運行速度は、法定速度若しくは規制速度を厳守するとともに、過積載の防止等法令を遵守するものとする。

### 1-1-1-2 調査用車両の区別

受注者は調査に使用する車両と一般車両の区別をするため、以下に示す調査用車両の標示と同等以上の標示板を設置するものとする。なお、標示内容の変更を監督員が指示した場合、受注者はその指示に従わなければならないものとする。

調査用車両標示板参考図



材質：耐水合板、強化プラスチック、  
布製又はラミネート加工した印刷物等

色彩：黄色地に黒文字

寸法：前部標示板

乗用車等：A 4 サイズ

トラック、ダンプ等：A 3 サイズ

後部標示板

トラック、ダンプ等：30cm×90cm

その他の全車両：A 3 サイズ

字体：丸ゴシック体（受注者名の文字の大きさは、  
他の文字より大きめにする）

□□：受注者車両の通し番号

## 1-1-2 環境保全に関する事項

### 1-1-2-1 砂塵等の防止

受注者は、調査用機械及び車両の走行による砂塵等の被害を第三者に及ぼさないよう善良な管理を行うものとする。

### 1-1-2-2 騒音等に関する配慮

受注者は、調査等業務に伴う調査用機械及び車両の騒音対策について、近隣の地域住民へ十分な配慮を講じて作業を行わなければならない。

### 1-1-2-3 環境保全に関する費用

本特記仕様書 1-1-2 「環境保全」に関する費用は、別途支払は行わないものとする。

## 1-1-3 合同現地踏査

合同現地踏査は、共通仕様書に規定されている受注者が行う現地踏査に発注者が同行して現地状況等の把握のほか、当該業務の課題及び契約内容について確認を行うものをいう。

合同現地査は、業務着手後速やかに行うことを原則とし、実施時期及び実施方法については受発注者協議のうえ決定するものとし、踏査に伴い確認した事項は調査等打合せ簿に記録し、受発注者で相互に確認するものとする。

なお、業務の追加・変更が発生した場合、又は共通仕様書に規定のない業務において発注者がその必要性を認めた場合は、合同現地踏査を実施するものとし発注者は必要な費用を負担するものとする。また、合同現地踏査により新たな課題等が発生した場合は、必要に応じて計画工程表を見直すものとする。

#### 1-14 ウィークリースタンスの取組み

ウィークリースタンスの取組みとは、受注者間における業務の進め方として、一週間における受発注者間相互のルールや約束事、スタンスを目標として定め、計画的に業務を履行することにより、業務環境等を改善し、より一層魅力ある仕事、職場の創造に努めることを目的とした取組みであり、本業務において積極的に取組むこととする。

取組内容は下記事項を標準として、契約締結後の打合せにおいて監督員を受注者とで協議の上実施する取組み事項を定め、調査等打合簿を作成し相互に確認するものとする。あらかじめ定めた取組み事項を実施できない事業が生じた場合の取扱いについては、その都度監督員と受注者と協議の上定めるものとする。

##### 【取組み事項】

- ① 月曜日を依頼の期限日としない（マンデー・ノーヒリト）
- ② 水曜日は定時の帰宅に心掛ける（ウェズデー・ホーム）
- ③ 土・日曜に休暇が取れるように金曜日には依頼しない（フライデー・ノーリクエスト）
- ④ 昼休みや午後5時以降からの打合せをしない（ランチタイム・オーバーファイブ・ノーミーティング）
- ⑤ 定時間際、定時後の依頼、打合せをしない（イブニング・ノーリクエスト）
- ⑥ 金曜日でも定時の帰宅に心掛ける

## 第2章 業務細部に関する事項

### 2-1 家屋事前調査

本業務は、秋田自動車道4車線化工事に先立ち、周辺地域において建物等の配置及び状況について調査を行うものである。

### 2-2 家屋事前調査の区分

建物及び工作物の用途による区分は次のとおりとする。

項 目	区 分 内 容
木造建物A	専用住宅、併用住宅、店舗、医院、診療所、共同住宅（アパート）、寄宿舍、その他これらに類するもの
木造建物C	工場、倉庫、車庫、体育館、畜舎、附属家、その他これらに類するもの ただし、倉庫、車庫、附属家等で附帯工作物として取り扱うことが相当なものを除く
工作物C	門、囲障、コンクリート叩き、アスファルト舗装通路、敷石、敷地内排水設備、一般住居にあっては屋外の給・排水設備、ガス設備、物干台(柱)、池等

なお、鉄骨系、コンクリート系、木質系のプレハブ造の建物については、木造建物に準ずるものとし、これによらない場合は別途監督員と協議するものとする。

建物延べ面積及び工作物敷地面積による区分は次のとおりとする。

項 目		区 分 内 容
木造建物	1	70㎡未満
	3	130㎡以上200㎡未満
	4	200㎡以上300㎡未満
	5	300㎡以上450㎡未満
工作物	1	100㎡未満

調査方法による区分は次のとおりとし、これによらない場合は別途監督員と協議するものとする。  
なお、家屋事前調査に先立ち実施する建物内部調査の実施可否ヒアリングの結果、拒否されたものについては、別途数量変更を行うものとする。

項 目	区 分 内 容
(a)	建物外部の調査を行うもの
(b)	建物内部の調査を行うもの

### 2-3 材料費等

材料費等は、トレース印刷費（図面、報告書等の成果品作成のためのトレース、浄書等及び印刷、陽画焼付、製本、写真代）及び消耗品費（用紙、ファイル、フィルム等の購入費）を計上するものとする。



## 2-4 打合せ

本業務における打合せの回数は、業務内容確認検査、完了検査を含め4回とする。打合せの検測数量は1式とし、履行状況により打合せ回数が増減しても打合せ費用の変更は行わないものとする。ただし、監督員が打合せ回数の追加を指示した場合や業務の追加、変更に伴い打合せを追加する必要がある場合の取扱いは監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

打合せ場所は、東日本高速道路株式会社横手工事事務所で行うものとする。ただし、打合せ場所の変更を監督員が指示した場合は、受注者はこれに従わなければならない。

## 2-5 交通費・日当・宿泊費

交通費・日当・宿泊費には、打合せ及び現地踏査、家屋事前調査に必要な交通費・宿泊費・日当を含むものとし、調査項目箇所が増減した場合は、交通費・日当・宿泊費の変更を行うものとする。また、WEBカメラ及びWEB会議システム等を活用して打合せを実施する場合の交通費・日当・宿泊費については計上しないものとする。

完了検査はWEB方式により行うものとする。ただし、WEB方式による実施が困難な場合は、対面方式による実施について別途監督員と協議するものとする。

## 2-6 成果品

- (1) 成果品の作成及び提出にあたっては、第2編 地盤変動影響調査等業務標準仕様書15条によるものとし、共通仕様書1-45「成果品」の定める規定については適用しないものとする。
- (2) 報告書の製本にあたっては、表紙は黒色、金文字とする。
- (3) 報告書の電子データをCDまたはDVDに記録し2部提出するものとする。なお、報告書の電子データはPDF形式とし、CADを用いて作成した図面の電子データはDWG形式またはDXF形式で報告書の電子データとともに記録する。

## 第3章 補足事項

### 3-1 現地立ち入りについて

現地立ち入りの際は、事前に当社と十分な打合せを行わなければならない。

### 3-2 設計図書の変更及び追加が予想される内容

- (1) 地元協議の結果に基づく、業務内容の変更及び追加
- (2) 現地踏査結果による、業務内容の変更及び追加